

SAMPLE

日本介護支援専門員協会の皆様へ

～アンケート調査へのご協力のお願い～

近年、定年退職後に飲酒問題が表面化する高齢者が多いことはマスコミなどで報道されていますが、高齢化が進むわが国で、在宅で介護保険サービスを受けている方々の中にも、飲酒の問題を抱えている方が数多くいらっしゃる、その対策が急務と感じています。

私どもは、まず介護現場でのアルコール問題の実態を明らかにした上で、支援者皆様のニーズを知り、対応マニュアルや研修事業などの整備に役立てたいと考えています。本厚生労働科学研究の趣旨をご理解頂き、介護支援専門員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

なお、謝礼として QUO カード希望される方には、アンケートの Q8 まで記入漏れなくお答え頂いた方の中から先着 600 名の方に、1,000 円分の QUO カードをお送りします。QUO カード希望される方は、アンケート表紙に QUO カード希望有りに○を付け、送付先住所、お名前をご記入ください。また、QUO カード送付時に QUO カード受領書となる返信用はがきを同封しますので、QUO カード受領後直ちに研究事務局にご返送ください。

本研究は、厚生労働科学研究費「アルコール依存症の早期介入から回復支援に至る切れ目のない支援体制整備のための研究（研究代表者：木村充）」の分担研究「アルコール問題を有する地域高齢者への効果的な介入と支援に関する研究」（研究分担者：杠岳文）の一環として、一般社団法人日本介護支援専門員協会の協力を得て行っています。

令和 3 年 2 月 20 日

研究分担者：国立病院機構肥前精神医療センター 院長
杠 岳文

研究協力団体：一般社団法人日本介護支援専門員協会
会長 柴口 里則
常任理事 坪根 雅子
榊 寿恵

《研究事務局》 〒842-0192

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160

国立病院機構肥前精神医療センター臨床研究部

担当者：岡

TEL: 0952-52-3231, FAX: 0952-53-2864

令和3年2月20日

会員の皆様へ

一般社団法人
日本介護支援専門員協会
会 長 柴 口 里 則
[公 印 省 略]

「アルコール問題を有する地域高齢者への効果的な介入と支援に
関する研究」のアンケート調査協力について

拝啓 平素より当協会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会では、厚生労働科学研究費「アルコール依存症の早期介入から回復支援に至る切れ目のない支援体制整備のための研究（研究代表者：独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 精神科診療部長 木村充先生）」の分担研究「アルコール問題を有する地域高齢者への効果的な介入と支援に関する研究」（研究分担者：国立病院機構肥前精神医療センター 院長 杠岳文先生）のアンケート調査に協力することといたしました。

この調査は、介護現場におけるアルコール問題を有する高齢者について、実態を明らかにした上で、介護支援専門員をはじめ、支援をする皆様のニーズを把握し、対応マニュアルや研修事業などの整備に役立てたことを目的として実施されます。

会員の皆様におかれましては、ご多用の折、恐縮に存じますが、本調査の回答にご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

SAMPLE

高齢者の飲酒問題についてのアンケート

このアンケートは、介護保険サービス利用の有無に関わらず、要介護あるいは要支援の介護保険認定を受けた高齢者で、皆様が介護支援専門員として現在担当している方について、お答えいただければ幸いです。なお、Q9とQ10でご記載頂く事例については、過去に担当した事例を含みます。

1) 謝礼（QUO カード 1,000 円分）希望の有無： **有り、無し**（いずれかに○を）

2) 謝礼希望有りの場合は、下記に謝礼送付先をご記入ください。

送付先住所

〒

お名前

【Q1】あなたが、介護支援専門員として**現在担当しているケース**は、全部で何ケースですか？男女別、第1号被保険者、第2号被保険者別にお答え下さい。

男性：第1号_____ケース、第2号_____ケース

女性：第1号_____ケース、第2号_____ケース

【Q2】Q1でお答え頂いた担当ケースの中で、**アルコール問題を明らかに有しているケース**は何ケースですか？（男女別、第1号・第2号別）なお、問題が明らかなケースとは、下記の【Q4】に挙げた様な飲酒関連問題があって、周囲も心配している方です。

男性：第1号_____ケース、第2号_____ケース

女性：第1号_____ケース、第2号_____ケース

【Q3】同じく、Q2でお答えいただいたアルコール問題が明らかなケース以外で、家族等の関係者の情報から**アルコール問題を有していることが疑われるケース**は何ケースですか？（男女別のみ）

男性：_____ケース

女性：_____ケース

【Q4】Q2でお答え頂いたアルコール問題を明らかに有している**担当ケースの中で見られる飲酒関連問題**は、以下に挙げた問題のどれに当てはまりますか？飲酒問題ごとに、その当てはまるケース数を記入して下さい。（男女併せて）なお、1例で複数の問題を同時に持つ方であれば、当てはまる問題それぞれにカウントして下さい。リストになれば、⑩、⑪その他に記載下さい。

- | | | |
|---------------------|--------|-----|
| ① 酒に酔っての暴言、暴力 | _____ | ケース |
| ② 酒に酔っての失禁、転倒 | _____ | ケース |
| ③ 食事を余りとらない、栄養状態が悪化 | _____ | ケース |
| ④ 薬を飲まない、持病の悪化 | _____ | ケース |
| ⑤ 酒に酔って大きな声を出す | _____ | ケース |
| ⑥ 夜間寝ない | _____ | ケース |
| ⑦ 酒量が多い、昼間から飲酒する | _____ | ケース |
| ⑧ 酒をせびる | _____ | ケース |
| ⑨ 酒に酔って外に出歩く | _____ | ケース |
| ⑩ その他①（具体的に： | _____） | ケース |
| ⑪ その他②（具体的に： | _____） | ケース |

【Q5】Q1でお答え頂いた担当ケースすべての中で、介護している**同居家族にアルコール問題が疑われるケース**は何ケースありますか？（男女併せてで結構です）

_____ケース

- ①（ ）アルコール問題の相談機関リスト
- ②（ ）高齢アルコール依存症に関する研修会
- ③（ ）高齢アルコール依存症対応マニュアル
- ④（ ）高齢アルコール依存症対応事例集
- ⑤（ ）精神科などの医療機関、行政、福祉の連携あるいはネットワーク会議
- ⑥（ ）地域保健師との連携
- ⑦（ ）その他❶(具体的に：)
- ⑧（ ）その他❷(具体的に：)

1. 必ず聞く 2. 時々聞く 3. たまに聞くことがある 4. 聞かない

① () 精神保健福祉センター、② () 保健所、③ () 市町村保健センター
④ () アルコール専門医療機関、⑤ () 断酒会等の自助グループ
⑥ () その他(機関名を具体的に:)

【Q10】あなたがこれまでに担当したケースの中で、本人の飲酒問題が当初あったが、対応がうまくいって、飲酒に関連した問題の改善に至った成功事例があれば、その概要をお教え下さい。なお、Q8と同じく、プライバシー保護に留意し、200字程度でまとめて下さい。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご回答いただいた結果を今後の対策に役立たせていただきます。なお、Q9とQ10でご記載頂いた事例は、研究班の成果物として対応事例集を作成する際に参考にさせていただくことがあります。その際には、いくつかの事例を併せた架空事例といたします。